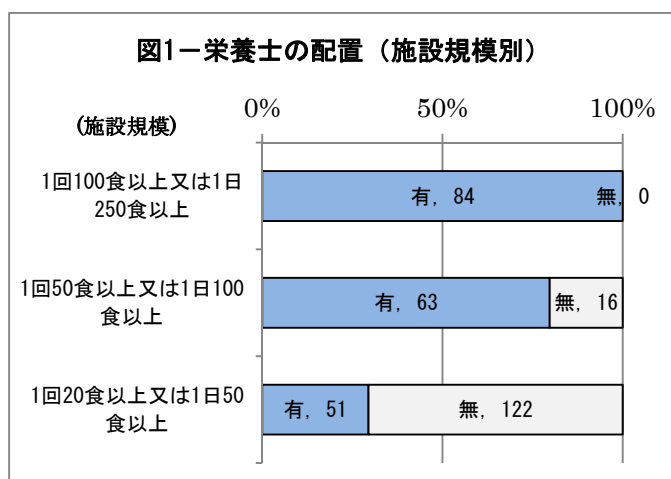


平成 28 年度「栄養管理状況報告書」結果のまとめ (介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設)

1 施設状況等

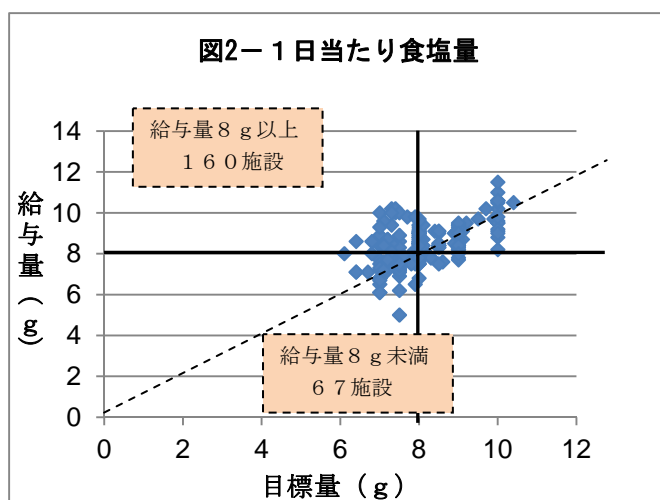
施設種別	総数	1回100食以上又は 1日250食以上	1回50食以上又は 1日100食以上	1回20食以上又は 1日50食以上
介護老人保健施設	37	34	3	0
老人福祉施設	268	48	62	158
社会福祉施設	31	2	14	15
合計	336	84	79	173

2 施設に所属する管理栄養士・栄養士数



- ・1回100食以上の特定給食施設の配置率は100%である。
- ・1回20食以上の小規模施設はデイサービス等が多いため、配置率は約30%と低い。

3. 栄養管理状況

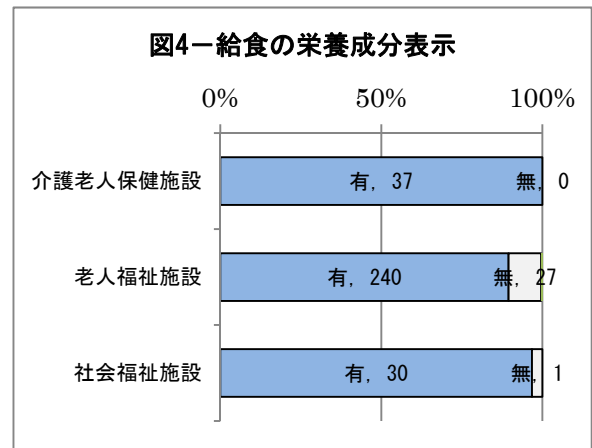
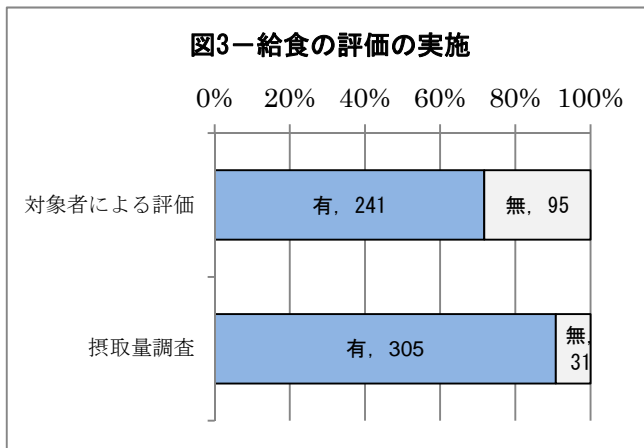


- ・食塩給与量が、食事摂取基準で示す目標量（男性1日8g未満）を超えている施設が160（70.5%）と多い。
- ・154施設（67.8%）では適正な食塩目標量が設定されていたが、うち93施設で実際の給与量が適正値を超えていた。
- ・73施設（32.2%）では、当所から食事摂取基準で示す目標量を超えた目標設定がされていたため、目標の見直しが求められる。

※1日3食提供する227施設について集計

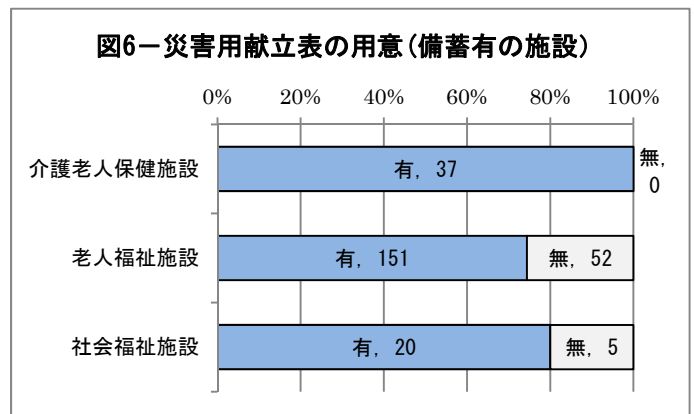
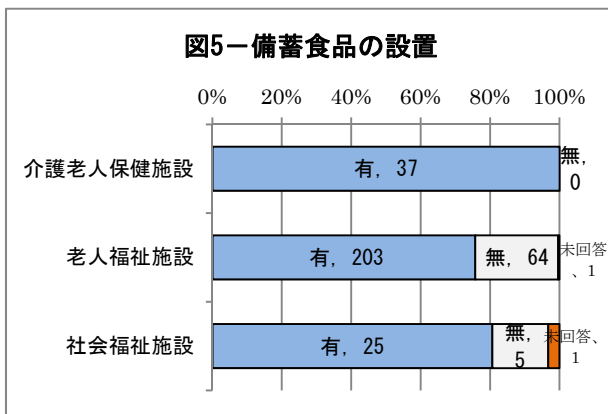
※◆1つが1施設を示す

4 給食提供の評価等



- ・摂取量調査は、約 90%の施設で実施されている。
- ・老人福祉施設で、栄養成分表示無しが約 10%見られた。

5 危機管理の状況



- ・老人福祉施設及び社会福祉施設では、備蓄食品のない施設が約 20%ある。
- ・備蓄食品を設置している施設において、提供する際の献立表が用意されていない施設が、老人福祉施設及び社会福祉施設で 2 割以上見られた。